

令和7年度貝毒原因プランクトンの出現状況（細胞/L）

採取月日	結果判定月日	漁場	種名	Alexandrium spp.	Dinophysis fortii	Dinophysis acuminata
			毒性	麻痺性	下痢性	下痢性
4月21日	4月21日	柴	水深（0m）	0	0	100
4月21日	4月21日	安浦	水深（0m）	0	0	100
4月21日	4月21日	走水伊勢町	水深（0m）	0	0	100
4月21日	4月21日	浦賀	水深（0m）	0	0	200
4月22日	4月22日	小網代	水深（0m）	0	0	0
4月21日	4月22日	葉山	水深（0m）	0	0	0
4月30日	4月30日	岩	水深（0m）	0	0	0
4月30日	4月30日	岩	水深（5m前後）	0	0	0
4月22日	4月22日	藤沢	水深（0m）	0	0	0
4月22日	4月22日	藤沢	水深（5m前後）	0	0	0

分析機関：神奈川県水産技術センター

本県における麻痺性貝毒の原因プランクトンはAlexandrium属、下痢性貝毒の原因プランクトンはDinophysis fortii及びDinophysis acuminataをいいます。

Dinophysis acuminataの出現状況が500,000（細胞/L）以上の場合、貝毒が発生する可能性があります。

令和5年度より、採取水深の標記を「表層・底層」から「水深」に統一しています。

令和6年度6月の検査結果より、漁場の名前を小坪から葉山へ変更しております。なお、調査地点は変更ありません。